

学びのデザインシート（授業前）

主体的・対話的で深い学びを実現する授業構想【商業／財務会計Ⅰ】

1. 対象（実施を想定する学校・生徒の実態の概要）

3年生

2. 単元名「財務諸表の活用」（全6時間）本時はそのうちの第5時「財務諸表分析」

3. 単元で育成を目指す資質・能力

知識及び技術	財務諸表分析について理論と実務とを関連付けて理解するとともに、関連する技術を身につける。
思考力、判断力、表現力等	財務諸表分析の方法の妥当性と実務における課題を見だし、それらを踏まえて、財務諸表を基に企業の実態を分析する。
学びに向かう力、人間性等	財務諸表分析について自ら学び、会計情報の効果的な活用に主体的かつ協働的に取り組む。

4. 本時の目標

財務諸表分析による同一企業の期間比較や同業他社比較を行い、企業の実態や経営に関する課題について考察する。

5. 授業展開【（本時）・単元】

解決したい課題や問い

同業他社の財務諸表分析による企業診断（経営の実態・課題）から発見できたことは何ですか。また、この分析から株式投資をしたいと考えた会社とその理由は何ですか。

考えるための材料

- ・ A社（〇〇製菓株式会社）の財務諸表（2期分掲載）及び事業内容資料
- ・ B社（△△製菓株式会社）の財務諸表（2期分掲載）及び事業内容資料

想定される活動

- ① A社（〇〇製菓株式会社）とB社（△△製菓株式会社）の財務諸表諸表分析を行い、収益性、成長性及び安全性に関する財務指標を利用した企業の実態を分析する。
- ② 2社の財務諸表分析から経営の実態・課題をまとめ、企業診断・投資判断について話し合う。
- ③ 財務諸表分析による比較から株式投資をしたいと考えた会社とその理由を自分の言葉で説明する。

対話と思考（対話を通じた協働的な問題解決のプロセス）

【4分】本日の内容・目標の確認

【5分】導入 財務諸表分析の計算（個人）

【20分】2・3人のグループをつくり、対話をしながら本日の課題に取り組む（グループ）

① A・B社の資料をもとに財務諸表分析を行い、企業診断（経営の実態・課題）をまとめる

② A・B社の財務諸表分析から企業診断と投資判断について話し合い、グループとして株式投資をしたいと考える会社とその理由をまとめる

【8分】グループごと株式投資をしたいと考えた会社と、その理由や根拠を発表する（全体）

【8分】他グループの発表から新たに気づいたことや発見できたこともふまえて、授業前と授業後の自分の考えを1人ずつ発表する（全体）

【5分】振り返り（個人）

学習の成果（予想される生徒のあらわれ）

財務諸表分析から企業の実態や課題を発見し、自分の言葉で説明できる。また、この分析から株式投資をしたいと考えた会社とその理由を自分の言葉で説明できる。そして、授業後は日常生活において企業への見方・考え方を広げ、新たな課題発見と解決意欲の向上につなげることができる。